

ホルミシスは究極のアンチエイジング・美容法

50代から60代になると、さまざまな老化現象(下図)に悩まされ始め、体の不調を訴える人がいっさらに増えます。

老化現象もすべて活性酸素による酸化障害、40代からはじまる抗酸化機能の低下によって、体内の各細胞や組織が毒性の強い活性酸素からの攻撃を防ぎきれなくなって起こる現象です。

細胞膜に過酸化脂質がたまってくると、栄養分の取り込みと老廃物を外に出す細胞の大切な代謝機能が阻害され各所で細胞が老化します。

加齢に伴ってホルモンの分泌や活動力が低下すると若々しさは急速に失われていきます。

ホルミシスとホルモンはどちらもギリシャ語のホルム(horme)が語源、英語のexciteと同じ「刺激する」「興奮する」という意味を持っています。

ホルミシスの刺激によって新陳代謝やホルモンの分泌を促し、心身ともに若々しさを取り戻す、ホルミシスはそんなアンチエイジングの大変有効な手段としても期待されています。

主な老化現象

- 白髪・脱毛
- 記憶力の低下(痴呆)
- 睡眠障害
- 原因のはっきりしない腰痛や関節痛
- 高血圧
- アミロイド沈着
- 老人斑(リポフスチン沈着)
- 発がん
- 糖尿病
- 勃起障害(ED)
- 自己免疫症
- 骨粗しょう症
- 白内障

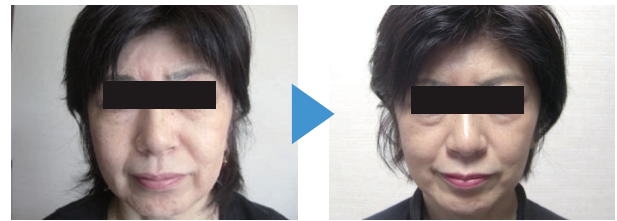
しみ・しわの大敵も活性酸素

ホルミシスを体験した女性の方から「肌がきれいになった」という感想が多く聞かれます。

肌の70%を占めるコラーゲンが活性酸素によって破壊されると肌の弾力や水気がなくなり、「しわ」「たるみ」の原因となります。

また紫外線から肌を守るために作られるメラニンが代謝機能の衰えで分解されずに残ったり、活性酸素によって生み出されるリポフスチンという老化色素が肌に沈着すると「しみ」になります。

ホルミシスにより抗酸化機能が回復することで、活性酸素によるコラーゲンの破壊やリポフスチンの出現が抑えられ、肌の細胞の新陳代謝も高まり、若々しい肌を取り戻すことが期待できます。



Before
(2010.9.6)

After
(2010.10.6)



- 本パンフレットに記載の医学的見解・臨床データ等は、岡山大学医学部教授山岡聖典著「放射線の不思議な生体作用」および株式会社ラドン医療研究開発機構のホームページより引用しました。
- 当サロンでのラドン吸引は医学的立証に基づいて行っておりますが、症状の改善をお約束するものではありません。予めご了承ください。